

昨夜は加藤、例の

如く閣下え対し

不平を論出候て、其云ふ

直輸出の甚

危とし、欧州にては

生糸を抵当に

金を借し候銀行

等は無之、今

此有限の銀貨

を以て直輸を為すも、

其生糸不捌

と相成、長く大蔵

の金庫に帰らず、

遂に政府は損失

を招くに至る訳の

甚不可也とし、

松方え出掛、反復

討論可致と云ふ。

迂生（※）は中間仲裁（※自分の謙称）

の注意を以て程能く

沈静致置申候。

猶、河島と示談。

今朝河島には

今朝

松方え出掛候筈、

而て帰路九時比

拙宅え参候筈に御座候。

迂生想像するに

昨夜は松方え御出掛

相成候事歟と

存申候。昨日の決議は

如何相成候哉、御漏

被下度、尤今朝

河島松方え参

加藤異論云々

申出候時は、再松方には

因循可致甚掛念

の場合に有之候。

加藤異論中に、

海外にて抵当と可致

金を借る策なし、

又不捌と云ふ度に、

必他人の疑惑を

生候事に付、可相成は

今朝早々松方え

御出掛相成、河島

と何も不知顔にて

落合、程能御協

議相成候ては如何。

松方にも此度始ての

着手に付、異論

不來様致置度、

併昨日政府にて

決義相済候事に

候は、特別也否。

御報奉祈候也。

十月廿九日未明

式白 昨日は同心社

反則致候噂、昨夜

糸会所は其為俄然

会議を開候由、如此

なる時は、外国人の

景況 弥強気を

加可申候。又為替金

の義、紙幣を以払ふと、

銀貨を以て払の

所断にて、内外人の

強弱大に 異候間、

昨日御決議相成候は、

何にて御払相成候哉。

是又御洩被下度候。

加藤云々短書

に尽し得ず、今朝
松方より御帰路被下候は、

甚幸。